

会議録

起案日：令和6年7月26日

下記のとおり会議録を作成しましたので報告します。

件 名	令和6年度 第1回丹波市立文化ホール事業推進会議
日 時	令和6年7月25日（木） 19:30 ～ 21:00
場 所	春日文化ホール 会議室
出 席 者	[委 員] 角 悟会長、安達 三紀子委員、田邊 利典委員、中谷 太一委員、 廣瀬 ゆかり委員、中出 靖大委員 （※欠席：荻野副会長、梅谷委員、吉見委員） [外 部] 一般社団法人ネクストゼロ 代表理事 長井 誠 [事務局] まちづくり部長 谷水 仁 文化・スポーツ課長 木村 成志 文化・スポーツ課芸術文化係 係長 見田 晋介 同 主事 瀬頭 史勇
【会議要録】 1 開 会 事務局 ・会議の成立 （事務局） 委員9名中6名の出席により、会議成立（1名会議途中より参加） （欠席委員については、事前連絡あり） ・委員以外の出席 （事務局） 会長の求めにより、ホール運営業務の受託業者である、一般社団法人ネクストゼロの代表理事の出席について報告。 2 あいさつ 会長 3 委嘱書の交付 丹波市小学校長会より推薦いただいた委員に、事務局より委嘱書を手交 自己紹介 出席委員6名、団体1名、事務局まちづくり部4名 4 報告事項 以下、議事進行を会長に依頼 —傍聴者の確認— （事務局） 一般傍聴者ならびに報道機関の申込みなし —会議の公開等の確認— （会長） 丹波市立文化ホール事業推進会議に関する運営要綱第2条より、会議の公開又は全部若しくは一部の非公開について諮る。本日の議事においては、個人情報に関するものではなく、丹波市情報公開条例に規定される不開示情報はないため、公開とする。 【委員からの異論なし】	

①前回会議録の確認

(事務局)

—資料により説明—

委員からの指摘事項なし。各委員の氏名を伏せた上で HP へ掲載する。

②令和 5 年度事業実施報告

③令和 6 年度事業進捗状況

(事務局)

—資料により説明—

令和 5 年度事業実施報告については、令和 6 年 3 月 28 日開催の令和 5 年度第 3 回ホール事業推進会議において詳細を説明しているため、一部変更のあった実績のみ説明。

令和 6 年度事業進捗状況については、前回会議からの変更点（赤字）を中心に説明。

(委員)

学校では情報発信をメール配信で行っており、月 2 回配信する機会があるが、「はじめの一步講座」についても事前に拝見している。

④ホール運営業務委託に関する進捗状況

(事務局)

—資料により説明—

(外部団体)

—ホールの運営状況・人材育成について説明—

ホールの運営については、長年経験しているため、従来どおり安定的な運営ができています。

現在は、人材育成について、力を入れて取り組んでいる。オペレータークラブ ZERO-IV の会員が現在 43 名おられ、その中でもリーダー的に動いていただく方を 6 名指名し、育成対象者として技術やノウハウを伝授するリーダー研修というものを実施している。全会員 43 名を対象とした、ビギナー研修を実施し、舞台スタッフとしての基本的な知識と技術を習得してもらうことを狙いとして、社員とともに取り組んでいる。

また、オペレーター育成講座の 15 期生として参加している 2 名を対象に育成している。

先ほど事務局からの説明にあった柏原高校ギター部について、現在の部員数が 1 年生 2 年生合わせて 70 名程おられるが、練習環境が粗末であり、良い音、良い環境で練習をさせてあげられたら、もっと伸びる生徒さんもいるのではないかと感じている。「はじめの一步講座」の中で実施しているが、対象者が一步を踏み出すのを待つのではなく、こちらから出ていく一步というコンセプトで顧問の先生や担当課と連携しながら、技術を伝えていくという取り組みを行っている。丹波新聞にも記事の掲載があったが、ただ単に機器の操作を教えるだけではなく、イベントを総合的に運営できるような子を育てたいというところで、こちらから出向いた講座を実施している。

氷上西高校のギター部でも顧問の先生が非常に積極的であり、そちらにも出向いてノウハウを伝えることで、若い世代が舞台芸術に対して興味関心を広い視点で持っていただけることに期待して取り組んでいる。

6 月にトライやるウィークで 3 名の中学生を受け入れて、社員にとって子どもたちに教えることが社員教育に繋がり、良い経験になるのではないかとということで取り組ませていただいた。

4 月の取り組みで手探り状態ではあるが、地道な取り組みで私たちの仲間が増えることを期待して、後継者の育成に努めていきたいと考えている。

(委員)

先日実施した文化協会の総合文化祭では、ネクストゼロに大変お世話になった。当初の予定では、ステージのモップ掛けはしないとなっていたが丁寧にモップ掛けしていただき、大変ありがたかった。非常に丁寧な対応をいただき、驚いている。丹波の森公苑ではそういった対応はしない、特別な指示もないという中で、ライフピアいちじま大ホールでは履物が終わった後の踊りの前には、必ずモップ掛けをしていただき非常に感謝している。

(委員)

細かなことまで気にかけて下さり、大変お世話になった。

5 協議事項

①令和7年度事業計画（案）

（事務局）

—資料により説明—

（委員）

演劇はどうか。音楽系中規模を2本入れていただいているのは、非常にありがたい。

（外部団体）

演劇のジャンルはどういったものか。

（委員）

文化芸術の多様性という中で、それぞれの演劇で自主公演をされているが、その部分の手助けというカスポットライトを当てて欲しいと思っている。丹波篠山市や多可町でされている市民ミュージカルを丹波市で実施するとなると過多になるのでどうかと思うが、文化ホールの振興ということであれば市民ミュージカルはよく使われる手である。

パルチザンさんは年1回の公演で子ども向けに焦点を当てて公演をされている。大人も子どもも参加して大きな公演をするとなった場合、ホールとして対応ができるかどうかという部分も気にする必要がある。

公演としては、芝居を入れていただけたらと思う。

（委員）

演劇という話が出たが、具体的にどういう演劇なのか。

（委員）

現時点でそこまで具体的に考えているものはない。田園交響ホールもベルディーホールも演劇は年1回されており、ライブピアでは最近実施していないと思ったので、意見を出させていただいた。

（委員）

他の委員の方も順番に意見をいただければ。

（委員）

前年度と比較をした時に、今年度からネクストゼロへ委託することになり、外部団体にも会議に出席いただいていることで、会議の内容が直接伝わることは非常に良いことだと感じている。直接的に伝わることで有意義な会議になるのではないかと考えている。

委託運営が始まって、期待以上のことをしていただいているということを聞かせていただいたので、今後ともより一層活躍いただきたいと思っている。

（委員）

バイオリンを聴く機会があり、弦楽器の音に触れる機会が少ないかと思うので、チェロやバイオリンの有名な方や、ピアノの有名な方を呼ぶことも良いのではないかと思います。

（委員）

以前は11月の勤労感謝の日あたりに有名な方を呼ばれていたと思うが、ほとんど行かせていただいていた。大型公演はその枠になるのかなと思って聞いていた。

演劇でいうと、但馬に平田オリザさんが移住をされていて、公演を聴く機会があり、こういう方も良いのかなと思う。多可町も色々な方が来られている印象があり、Kiroroさんや丘みどりさん（姫路市出身）が来られていて、ここまで来ていることに驚いた。

来年に女性管理職の会が丹波であり、誰を呼ぶかリストアップしていたが、その時に丹波市出身や丹波篠山市出身の方を挙げていて、よしもとの森田まりこさんが西紀小学校の出身で人気のある方かなと思う。また、同じ西紀出身でキュウソネコカミのギターの方もおられる。兵庫県出身にこだわる必要はないと思うが、そういった経緯で調べたこともあって紹介させていただいた。

(委員)

色々なジャンルがある中で、多くの方に共感してもらう事業をしていくのは難しいと思う。自分の興味のあるものについては一生懸命になるが、そうでないものについては活発にならないという部分がある。若い人にも高齢者にも共感してもらうというのは非常に難しい。

様々な事業をする中で、「自分がこうしたい」「どういう方向にしていくなか」というものを知恵を出し合えば、次に繋がっていくのではないかと感じている。

②ライフピアいちじま大規模改修工事に伴う大ホールの休館について

(事務局)

—資料により説明—

【資料訂正】

工事設計の担当課から連絡があり、大ホールの休館に関しては7年度中の実施は難しいと思われるため、資料3で示しているような休館期間を設けることはない。

(委員)

老朽化による改修になるのか。

(事務局)

老朽化に伴う改修工事となる。

(委員)

壁面は上部の張り替えのみか。

(事務局)

上部のみを張り替えることとなる。

(委員)

特に音響面を考慮したものは何もないということか。測定をすることはしないのか。

(事務局)

特にそういうことはしない。

機能的な向上ではなく、壁面の化粧材の老朽化に伴う張り替えを行うのみとなる。

(委員)

材質によっては音が変わってくるのではないと思うが、そういった材質も業者任せになるのか。

(事務局)

業者にお任せする予定。

(委員)

天井の雨漏りはされないのか。

(事務局)

ライフピアいちじま全体の改修工事となるため、防水工事を行う。

工事については、来年度契約して着工となる予定のため、大ホールに影響のある設備の更新については令和8年度にずれ込むような予定となる。躯体の改修工事については、7年度中に着手する予定となっているが、具体的な工程がないため細かい部分までは分からない。

6 その他

①委員の推薦依頼について

②次回開催予定

(事務局)

—資料により説明—

(委員)

7年度事業計画の音楽系中規模公演について。

今年の5月に実施されていた「やぶ音楽祭」で、ビバホールでされていた堀江トリオを観に行った。すごく良かったので、ぜひ丹波市での実施も検討していただきたい。

やぶ音楽祭とまでいなくても、クラシックの年にするのであれば、3回連続で内容の異なるクラシック公演を行って、3回連続で来られた方には大阪で開催されるクラシックコンサートのチケットをプレゼントするなどの特典があると面白いと思う。

ギター部の話が出てきたが、先生のご尽力もあり部員数が増えることは良いことだと思う。しかし、中学・高校にコーラスがないのは非常に寂しく感じる。コーラスに特化して何かをしてほしいというわけではないが、出来るだけ子どもたちに色々な音楽を聴いてもらって、選択肢を増やすことができるホールであってほしいと思う。

ギター部の部員が増えてきている一方で、大学までとかライブハウスでとかプロになってとかを聞くことがない。続けていくという部分に何か仕掛けが必要ではないか。基本理念にも次世代につなぐとあるため、若い人を取り込んで続けていく努力というものを、ホールが直接的に関係するものではないが、考えていく必要があると思う。

歌でいうと、アカペラには多少興味があるのではないかな。有名な人を呼んでアカペラ教室を実施してみて、舞台上で披露するというのも良いかなと思う。

バンドフェスタにもコンテスト要素を入れてみると、練習のモチベーションにもつながって、大学やその先まで続ける人が出てくるのではないかなと感じる。

7 閉 会 会長